

2006 年度

|   |  |   |
|---|--|---|
| <p>科目名</p> <p style="text-align: center;">ピアノ B</p>   | <p>対象学科・学年</p> <p>文学部教福1回生<br/>教育教福1回生</p>           | <p>担当者</p> <p style="text-align: center;">植條 勝子</p> |
| <p>授業テーマ</p> <p>ピアノ実技</p>   |  |   |
| <p>授業の概要と目標</p> <p>ピアノAで習得したテクニックをMLシステムによる個人レッスンでさらに向上させる。アンサンブルは公開レッスン形式を採り、いろいろなジャンルの音楽に取り組んで幅広い音楽感覚を身につける。また楽器の機能を活かした表現を楽しみながら、アレンジを工夫して柔軟な演奏ができることを目標とする。</p>   |  |   |
| <p>評価方法</p> <p>課題曲（教則本・マーチ）の実技試験と自由曲のアンサンブル演奏とにより評価する<br/>毎回のレッスン時の態度や出席も参考にする</p>  |  |   |
| <p>テキスト</p> <p style="text-align: center;">マーチ アルバム</p>   | <p>著者</p> <p style="text-align: center;">音楽之友社 編</p> | <p>出版社</p> <p style="text-align: center;">音楽之友社</p> |
| <p>参考書</p>  | <p>著者</p>  | <p>出版社</p>  |
| <p>授業スケジュール・内容</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. MLシステムを使って アンサンブルを楽しむ グループ編成</li> <li>2. 個人レッスン（全員）によりグレードの確認をする</li> <li>3. 個人・アンサンブルレッスンを併行する</li> <li>4. ↓</li> <li>5. ↓</li> <li>6. ↓</li> <li>7. ↓</li> <li>8. ↓</li> <li>9. 課題曲（教則本・マーチ）を提示する</li> <li>10. 課題曲の個人レッスン・自由曲によるアンサンブルレッスンを併行する</li> <li>11. ↓</li> <li>12. ↓</li> <li>13. ↓</li> <li>14. 全グループによるアンサンブル演奏発表</li> <li>15. 実技試験（教則本・マーチ）</li> </ol> |  |   |